

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>○大分県学力定着状況調査では、5年、8年ともに全教科では県平均(正答率偏差値)を上回った。しかし問題項目では、5年で国語の「説明文を読み取る問題」算数の「計算の復習」と「計算のきまり」、8年で数学の「平面図形」や社会の「地理分野」でやや課題が残った。</p> <p>○全国学力・学習状況調査では、6年、9年ともに全教科において全国平均(正答率偏差値)を上回ったが、6年では国語の「伝統的な言語文化と国語の特質」算数の「図形」に課題が残った。</p> <p>○9年英語の「話すこと」の正答率は全国30.8%に対し、校内22.5%であった。</p> <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <p>効力感アンケート(昨年度と今年度1学期の比較)</p> <p>中期5～6年 後期8～9年</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ学習やグループ活動は考える時に役に立つ 中期 81.1%→80.5% 後期 84.9%→86.7% 自分の考えを伝える機会がある 中期 75.9%→77.8% 後期 77.3%→80.2% 	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <p>○「ほぼ毎日家庭学習をしている」の肯定率は、5年生で82.6%、8年生では78.9%である。</p> <p>○各学年の目標とする学習時間の率については、5年生で1時間以上が69.5%、6年生で61.2%、8年生では2時間以上が32.2%、9年生では3時間以上が16.3%であった。全国や県に比べると、5年、9年はやや高い傾向ではあるが、6年、8年はやや低い。</p> <p>○「自分で計画を立てて学習する」の肯定率は、4学年とも50%前後であったが、与えられた課題には取り組んでいる。</p> <p>以上のことから、「学習時間の確保」と「主体的な学習」が課題である。</p> <p>○「授業で話し合う活動をよく行っている」の肯定率は、5年生は91.4%、6年生は80.1%、8年生は83.3%、9年生は84.7%と高いことから、主体的・対話的で深い学びの視点を意識した授業実践の成果が見られる。</p>
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <p>○支持的風土の醸成(教室環境、学習規律の徹底、関係づくり)・「新大分スタンダード」に基づく1時間完結型の授業づくり(対話の重視)・生徒指導3機能を意識した授業の工夫により自己肯定感を高める指導を継続している。</p> <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <p>○補充学習の実施(5年生以上の朝学習、1～4年生のスキルタイム実施、夏季休業中の4～9年生の補充指導)</p> <p>○家庭学習指導(家庭学習時間の目安設定、学習の手引きの活用)</p> <p>○読書指導(読み聞かせ、読書タイムの実施)</p>	

学力に関する達成指標	○各種学力調査における結果において、全国平均以上の教科数の割合95%以上
------------	--------------------------------------

